

4 大化に伴う施設整備方針(案)について

1 施設整備の基本的な考え方について

施設・設備等については、コストが過大なものにならないよう留意しながら、教育研究環境の充実のため真に必要とされる施設を、以下の考え方に基づき整備するものとする。

(1) 現有キャンパスの活用

4大化に伴い必要となる施設・設備等については、秋田公立美術工芸短期大学の校地、施設・設備等を、最大限に活用して確保することを基本とする。

(2) 新たな施設・設備等

- ① 大学設置基準を充足するために必要となる研究室、演習室については、増築、既存施設の改修により整備する。
- ② カリキュラム編制(案)を踏まえ、新たに必要となる実習室を整備する。
- ③ 充実した学生生活をサポートするため、サークル活動等の課外活動の拠点となるスペースを整備する。

(3) 中心市街地における大学関連施設設置の検討

地域に開かれた大学として、また、にぎわい創出への貢献を考慮し、駅前等中心市街地への関連施設の設置について、引き続き検討を行う。

2 施設・設備等の確保と整備(案)について 資料1-1参照

4大化に伴い必要となる主な施設は、研究室、教室(講義室、演習室、実習室)、学生制作室、学生共用室、作品保管庫となっており、以下により確保する。

(1) 教室について

現時点のカリキュラム編制(案)によれば、講義室については、現講義棟での割り振りにより対応できる見込みであるが、演習室、実習室については、別途対応が必要である。

① 演習室

4室程度の演習室を、現在の創作工房棟を改修して確保する。

② 実習室

これまで美短で実施されなかった彫刻(石彫、木彫等)が新たにカリキュラムに位置づけられることから、素材として重量のある石も扱うこと、粉塵や騒音等への配慮が必要となることなどを考慮し、キャンパス周縁部で他への騒音等の影響が少ない大駐車場の一角(体育館側)に彫刻実習棟(仮称)を整備する。

また、学生が自由に課題等の制作活動を行える場として、学生制作室を創作工房棟の改修により確保する。

(2) サークル活動等の課外活動への対応について

(1)①の創作工房棟改修に伴い、現創作工房棟にある学生のサークル活動等の場がなくなること、さらには4大にふさわしいキャンパスライフの実現を図る観点から、学生がサークル等の課外活動に利用できるサークル会館(仮称)を、大駐車場の一角(グラウンド側)に整備する。

あわせて、同じように現創作工房棟にある作品保管庫、倉庫についても、本施設内に設置する。

(3) 研究室について

新たに必要となる教員研究室については、教員相互の円滑な情報交換や学生指導等に支障が生じることのないよう、現研究棟(研究室)との一体性を確保しつつ整備する。

(4) その他留意事項

整備にあたっては、美術系大学として極めて高いデザイン性を有する現有施設との一体性、調和に十分留意する。

また、美短の授業・研究等にできるだけ支障とならないよう、工事期間、施工法等についても配慮する。

3 施設整備計画(案)の概要について

(1) 創作工房棟改修(案)の概要 資料1-2参照

区分	数量	面積	備考
演習室	4	613㎡	178㎡×1(1F)、145㎡×3(1F1室、2F2室)
学生制作室	1	178㎡	1F(吹き抜け)
他		172㎡	トイレ、廊下、ミーティングルーム、給湯室等
合計		963㎡	

① 配慮すべき事項

- カリキュラム編制(案)と大学全体の教室の配置等の検討内容に応じて、各部屋の整備内容等を精査する。

(2) 彫刻実習棟(仮称)新築(案)の概要 資料1-3参照、資料1-5参照

区分	数量	面積	備考
石彫室	1	144㎡	床は土間とコンクリート 2.5m以上ホイスト、更衣室等の設置が必要
木彫室	1	80㎡	床は材木
プラスチック室	1	64㎡	床はコンクリート
合計		288㎡	

① 配慮すべき事項

- 各部屋に十分な換気設備および集塵施設を設置する。
- 各スペースの正面出入り口はシャッターとする。
- 広いスペースを活かして、可能な限り他の授業等でも共有できるよう配慮する。

(3) サークル会館(仮称)新築(案)の概要 資料1-4参照、資料1-5参照

区 分	数量	面 積	備 考
学生共用室	1	450m ²	2F
作品保管庫	1	256m ²	1F 温度、湿度管理必要
倉庫	1	140m ²	1F
他		114m ²	トイレ、給湯室、廊下等
合計		960m ²	

① 配慮すべき事項

- ・ 学生共用室は、使用形態の変更に対応できるよう移動可能な間仕切りとする。
- ・ 各部屋の配置や必要な設備等は今後、十分精査する。

(4) 研究室増築(案)の概要 資料1-6参照

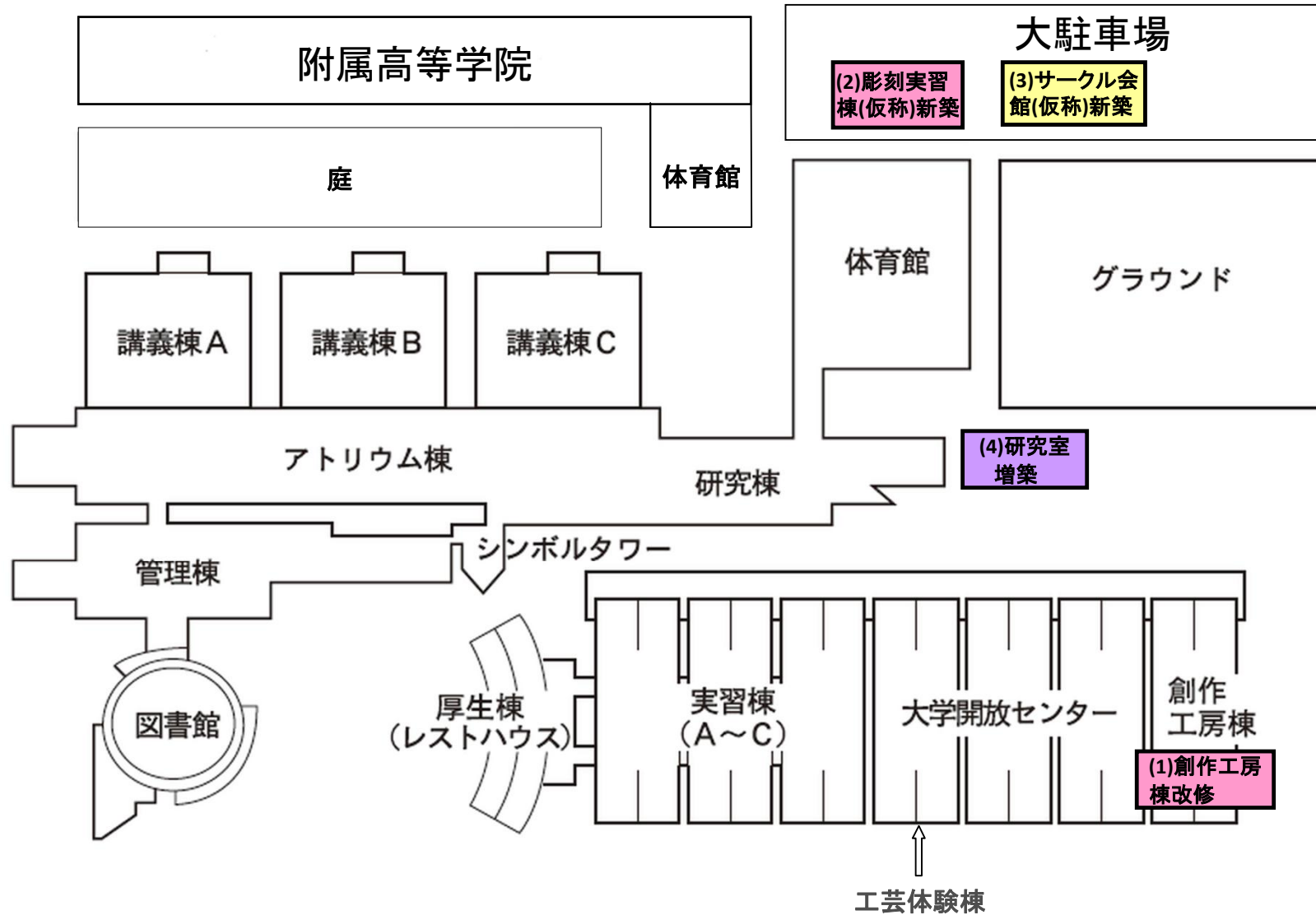
区 分	数量	面 積	備 考
教員研究室	12	348m ²	29m ² ×12室(2F8室、3F4室)
ピロティ		272m ²	1F
他		90m ²	廊下
合計		710m ²	

① 配慮すべき事項

- ・ 各部屋の仕切りは、将来の使用面積・形態等の変更に対応できる素材・構造とすることを検討する。
- ・ 増築部分について、可能な限り現研究棟とのデザインの一体性に配慮する。

新屋キャンパス施設整備(新築・増築・改修)(案)

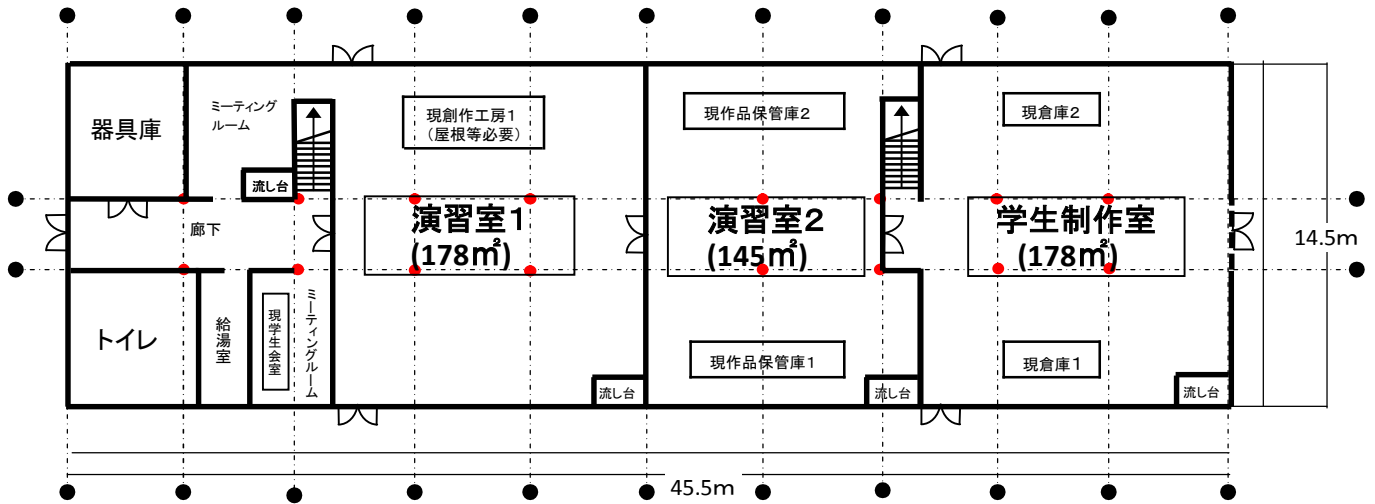
資料1-1



創作工房棟改修(案)

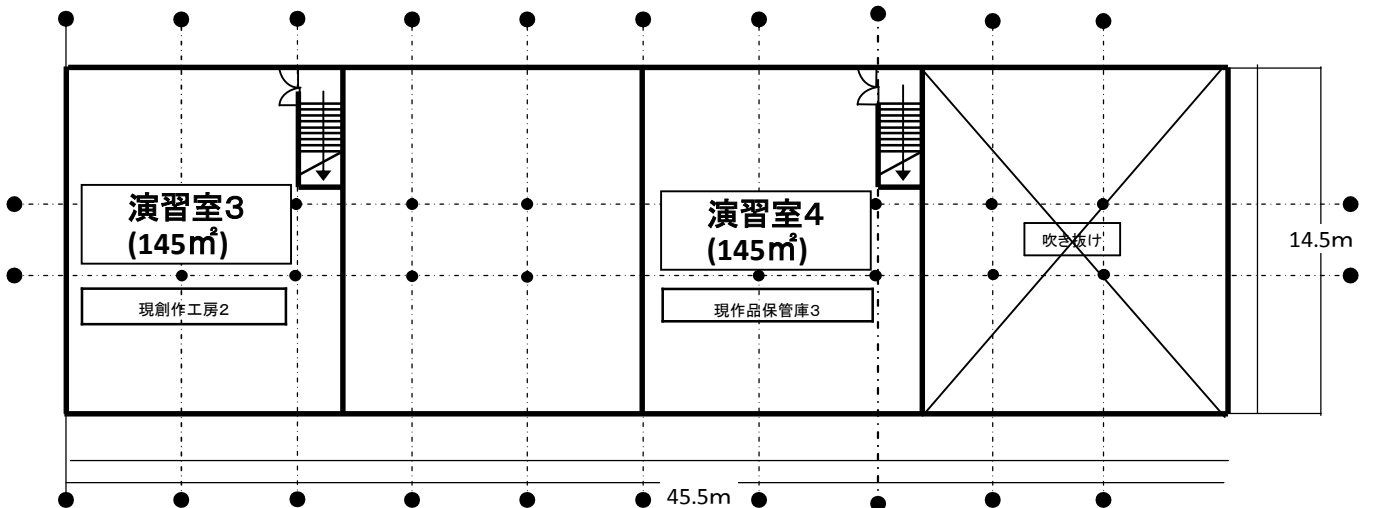
新屋図書館側

1F



グラウンド側

2F

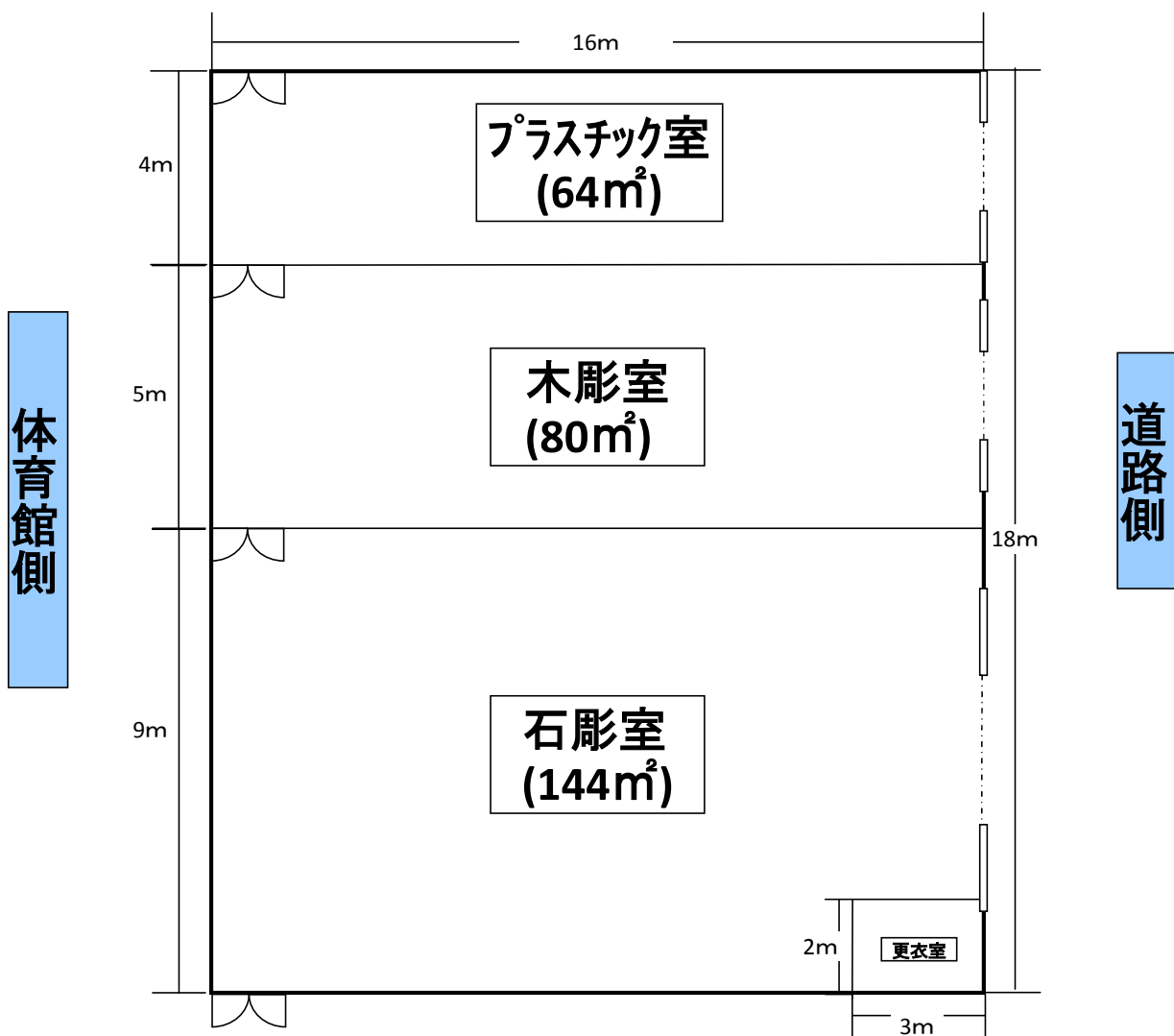


西中側

1F $45.5\text{m} \times 14.5\text{m} = 659.75\text{m}^2$
 2F $20.93\text{m} \times 14.5\text{m} = 303.49\text{m}^2$
 合計 963.24m^2

彫刻実習棟(仮称)の新築(案) 大駐車場一部(体育館側)への平屋建

附属側



床面積

$18\text{m} \times 16\text{m} = 288\text{m}^2$

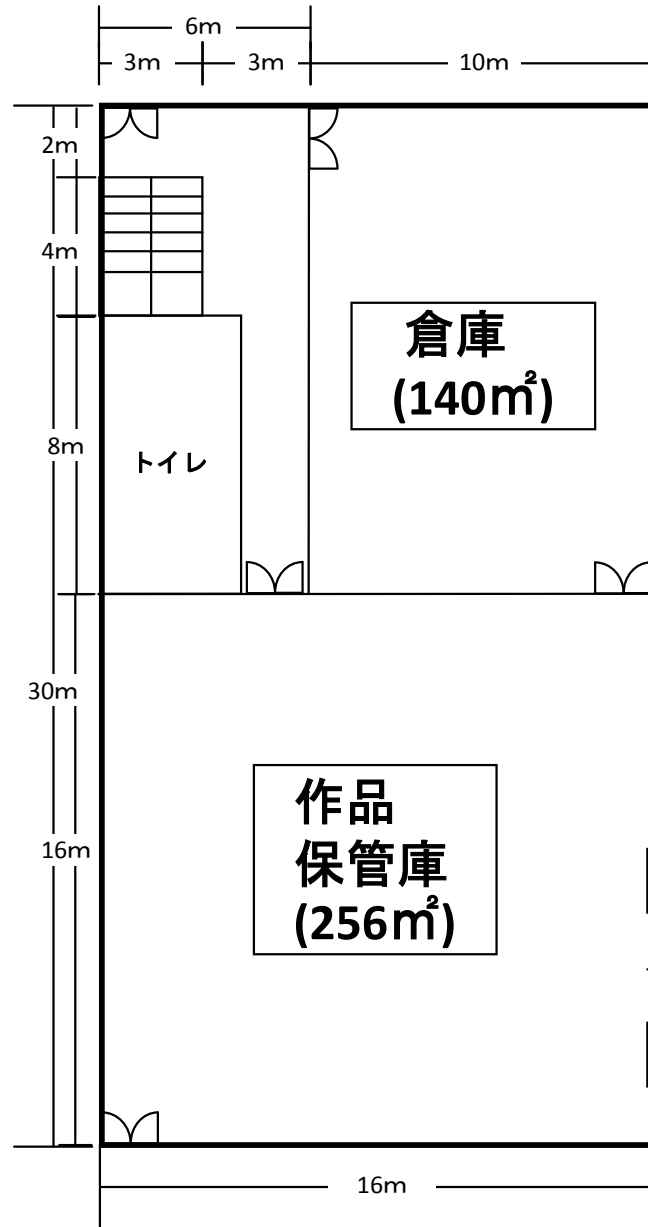
※天井は9メートル程度必要

サークル会館(仮称)の新築(案) 大駐車場一部(グラウンド側)への2階建

附属側

1F

グラウンド側



道路側

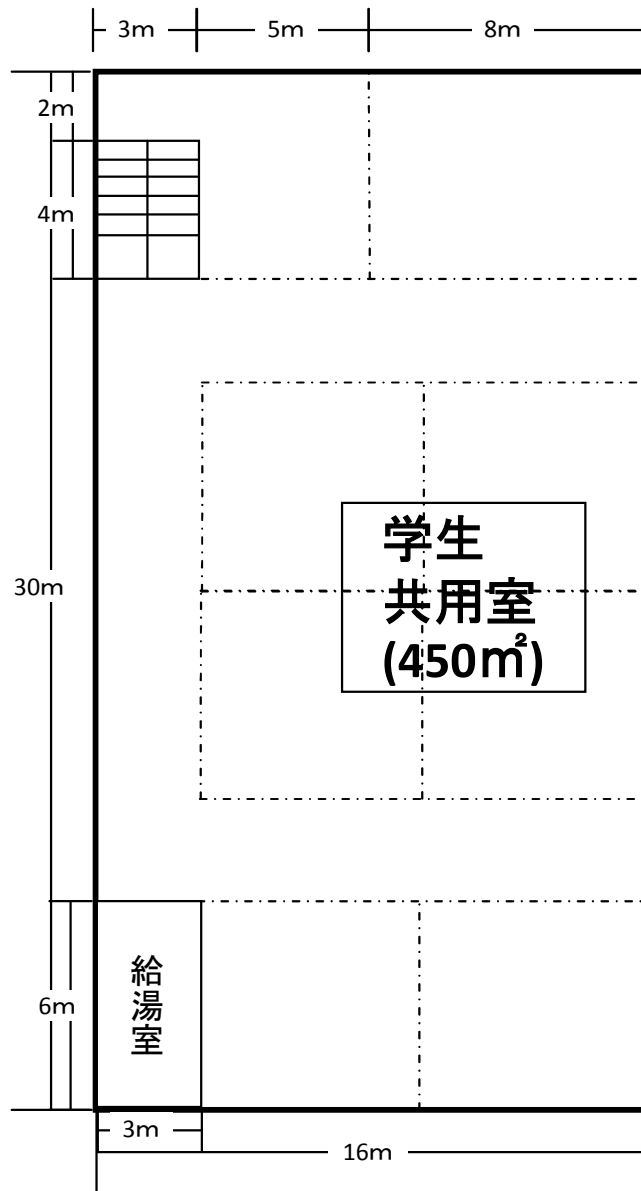
1F、2F 両フロア面積
30m × 16m = 480m²
合計 960m²

サークル会館(仮称)の新築(案) 大駐車場一部(グラウンド側)への2階建

附属側

2F

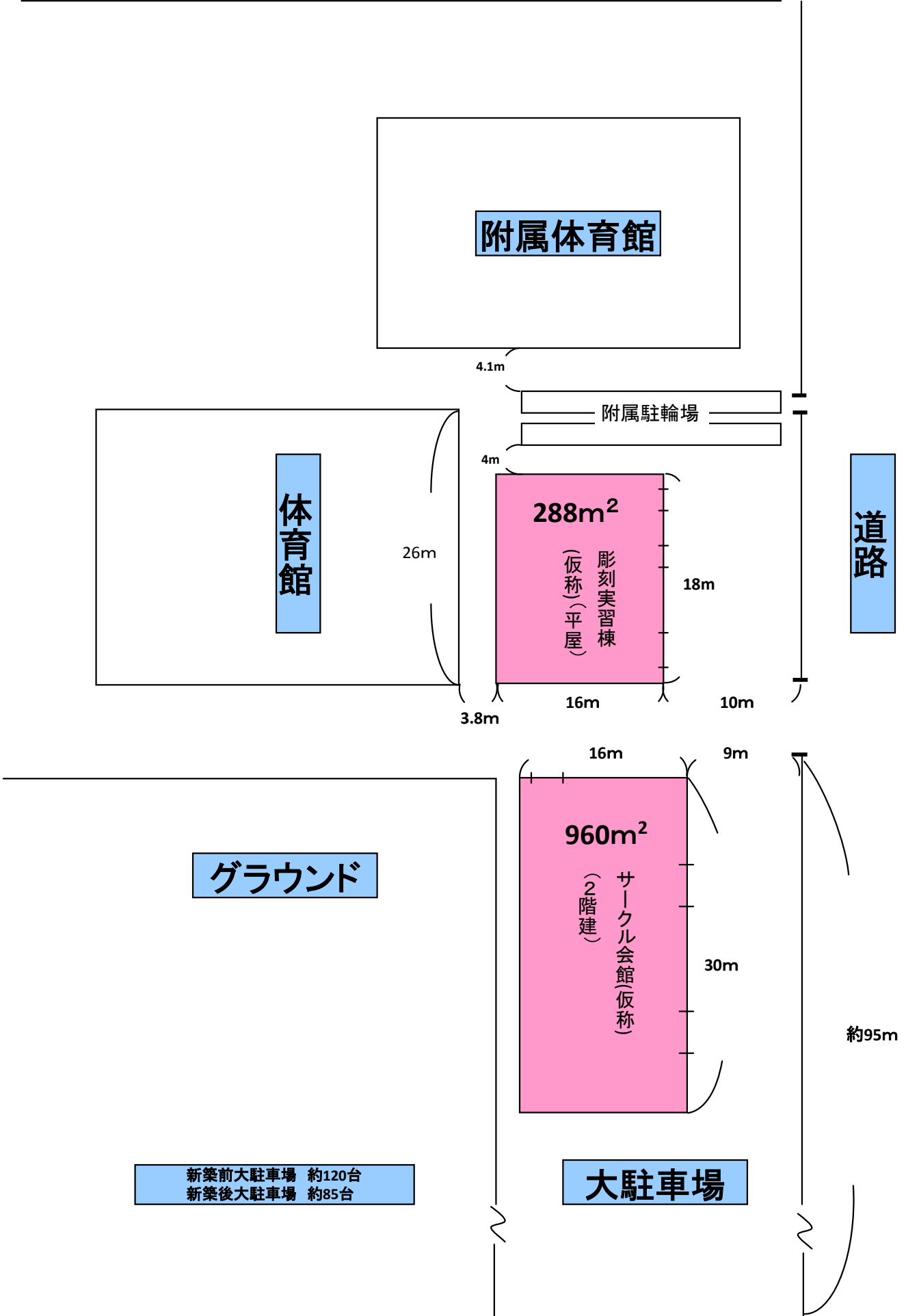
グラウンド側



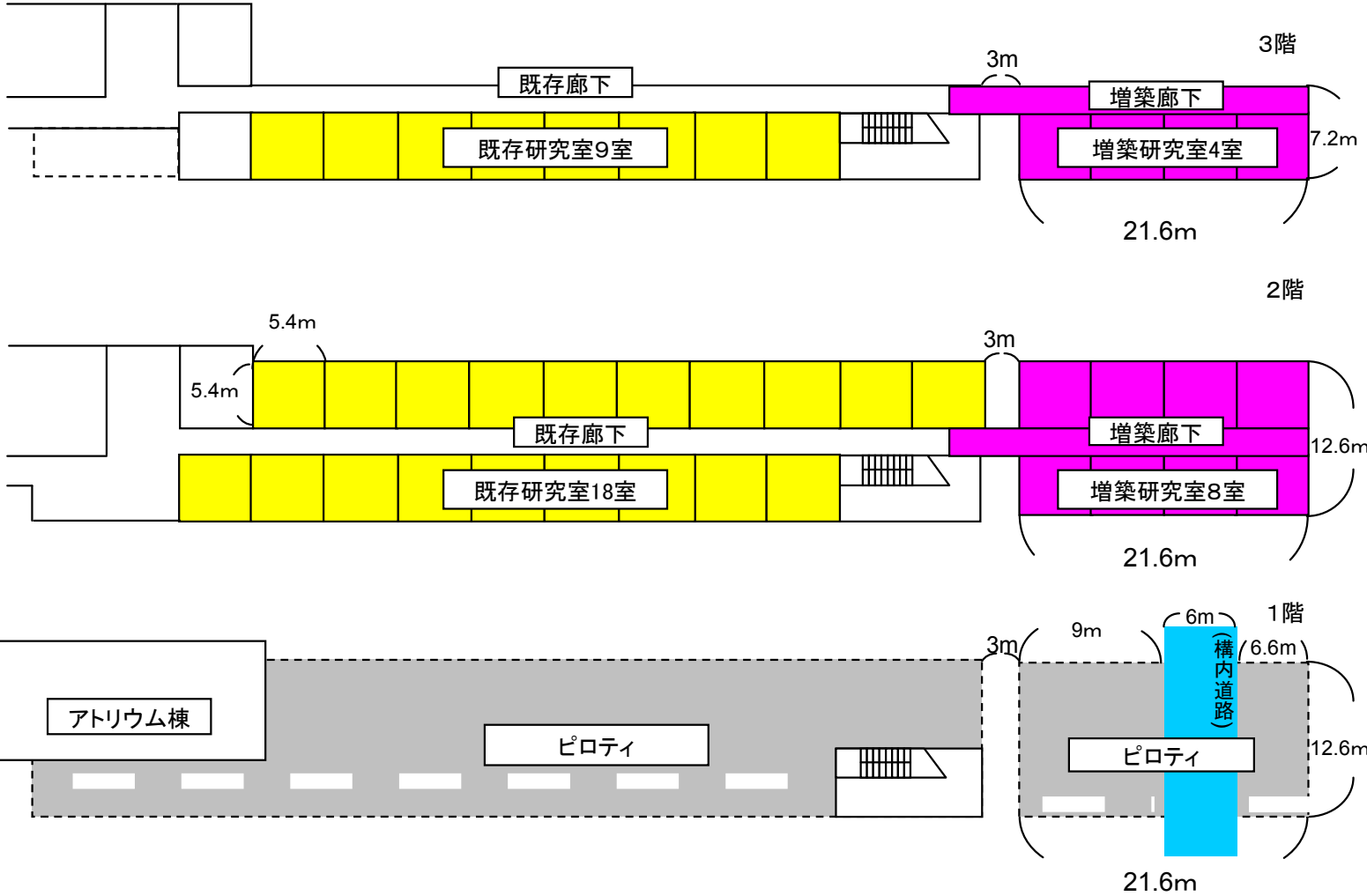
道路側

1F、2F 両フロア面積
30m × 16m = 480m²
合計 960m²

大駐車場一部(体育館側)の施設整備(案)



研究棟増築(案)



2階:8室、3階:4室、合計:12室

研究室床面積 $29\text{m}^2 \times 12\text{室} = 348\text{m}^2$
 1階ピロティ 272m^2 、廊下 90m^2 計 710m^2